

## 鹿児島県考古学文献目録 Ⅱ

池畠 耕一

1974(昭和49)年～1981(昭和56)年

および前回の訂正・補遺

## 例 言

1. 本編は鹿児島県に関する考古学関係文献を集録したものである。
2. 今回は、前回(鹿児島考古第9号)の訂正・追加を含め、1981年までを対象とした。
3. 記載順・略記等は前回と同様である。

◎ 次の文献は重複あるいは未発行のため消去する。前回の資料番号で記す。

16・23・32・45・100・156・184・221・267・298・299・346・347・348・362～370・635・653  
763・780

◎ 次の文献は発行年を訂正する。

1. 1891年→1892年 4. 1895年→1896年 14. 1909年→1901年 59. 1931年→  
1941年 162. 1951年→1921年 169. 1953年→1952年

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
1	1904(M37)	薩南考古雑談	藤田 浮鷗	考古界3-10	
2	1914(T3)	薩摩と琉球	横山 健堂	中央書院	
3	1916(T5)	隼人考	喜田 貞吉	歴史地理28-5~29-1	1917年まで
4	1918(T7)	九州旅行談	〃	考雑8-7	
5	1935(S10)	南島の旅(一)～(七)	三宅 宗悦	ドルメン3-5・6・8・9 10・12, 4-3	
6	1938(S13)	多良島國分寺	角田 文衛	国分寺の研究(下)	
7	〃	大隅國分寺	寺師見国・木村幹夫	〃	
8	〃	加治木町発見の石器	樋口清之・乙益重隆	史雑10-2	
9	1941(S16)	九州南端の石包丁	藤森 栄一	古代文化12-8	
10	〃	東亞農具雑記 —日本古墳発見の鋤と鍬—	橋場 信夫	〃	
11	1953(S28)	鹿児島県立図書館博物室 考古資料目録	鹿県立図書館博物室		
12	1954(S29)	鹿児島県鹿児島市一の宮遺跡	河口 貞徳	年報2	

## 鹿児島県考古学文献目録 Ⅱ

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
13	1955(S30)	出水貝塚の馬について	林田重幸・山内忠平	鹿大農学部学術報告4	
14	〃	我が国古代稻作の系統	国分直一	水産講習所研究報告1	
15	1956(S31)	古式古墳の多葬	石部正志	貝塚57	唐仁原大塚
16	〃	縄文文化の起源の研究	江坂輝彌	史学第29卷第2号	
17	1958(S33)	1957年度の日本考古学界(2) 弥生文化(九州)	小田富士雄	貝塚74	
18	〃	山川町成川遺跡	河口貞徳	郷土史研究会誌第2号	隼人町郷土研究会
19	〃	成川談義	〃	三州談義7	三州談義社
20	〃	成川遺跡	〃	さんぎし	さんぎし発刊所
21	〃	先史時代の南日本	〃	警友さつま	
22	〃	鹿児島県種子島広田遺跡発掘の 弥生時代人頭骨に就いて	永井昌文	解剖学雑誌33	
23	1960(S35)	種子島南種子町の埋葬遺跡 の発掘調査	国分直一	昭和34年度文部省研究費による 研究報告集録・人文篇	
24	1960(S35)	面縄第二貝塚の調査	国分直一	水産講習所研究報告5	
25	〃	薩摩大口市伊佐郡における 縄文器	寺師見国・三島格	九州考古学9号	
26	〃	1959年度の日本考古学界(1) 縄文文化(西日本)	間壁忠彦	貝塚97	
27	〃	〃(2) 弥生文化	磯崎正彦	〃98	
28	1961(S36)	奄美群島沖永良部島西海岸 発見の抜歯頭蓋	金関・永井・牛島	年報9	
29	〃	奄美大島の先史時代	国分・曾野・河口	〃	
30	〃	古代九州人の風習的抜歯	永井昌文	福岡医学雑誌52-8	
31	〃	種子島中種子町に発見された 覆石墓について	盛園尚孝	種子島民俗13	
32	〃	縄文と弥生	河口貞徳	三州談義40・41	三州談義社
33	1962(S37)	九州における貝殻文土器について	大脇直泰	考古学研究第8卷第3号	
34	1963(S38)	貝塚出土品の一例	山口睦男	もぐら2号	
35	〃	日本及びわが南島における 葬儀上の諸問題	国分直一	民族学研究2月号	『現代のエスプリ』 111号(1976年)
36	〃	鹿児島県種子島広田遺跡出土の 弥生時代人骨に就いて	永井昌文	解剖学雑誌38	
37	1964(S39)	離島の人文地理—鹿児島県 甑島学術調査報告—	藤岡謙二郎編	大明堂	
38	〃	黒川洞穴発掘報告	河口貞徳	洞穴遺跡調査会報12	
39	〃	日本馬の源流	林田重幸	自然Vo.19 No.2	
40	1966(S41)	鹿児島県宝島浜坂貝塚	三友国五郎	年報14	
41	1968(S43)	層序と編年	芹沢長介	新版考古学講座第1巻	
42	〃	南島の複葬について	国分直一	南島研究第8号	
43	〃	先史時代の屋久島	河口貞徳	屋久島《美しい豊かな 自然》	名溪堂
44	1969(S44)	新版考古学講座 第2巻～第10巻		1971年まで	
45	〃	鹿児島県曾於郡片野洞穴	河口貞徳	年報17	
46	〃	鹿児島県吹上町黒川洞穴	〃	〃	

## 鹿児島考古第16号

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
47	1969(S44)	日本文化の歴史一大地と呪文	国分直一		単行文
48	1970(S45)	九州考古学散歩	柴田勝彦	学生社	
49	〃	古代における大隅・薩摩両国の差異について	中村明藏	鹿児島史学19号	
50	〃	弥生時代の貝輪	永井昌文	日本人類学会・日本民族学協会連合大会記事	
51	〃	南島の須恵器	佐藤伸二	東洋文化48・49	
52	1971(S46)	姶良郡溝辺町大型の港建設地内における埋蔵文化財発掘調査報告書	林敬二郎	鹿県史跡調査会	
53	〃	鹿県姶良郡溝辺町の開発地下構造調査についての経過摘要	黒田清光		単行文
54	〃	大島郡笠利町の先史学的所見	白木原和美	南日本文化第4号	
55	〃	鹿児島県溝辺町石峯遺跡	河口貞徳	年報19	
56	〃	川内市鶴峯窯址	〃	〃	
57	〃	鹿児島県出水市上場遺跡	池水寛治	〃	
58	〃	吹上町今田遺跡	上村俊雄	〃	
59	〃	熊毛郡増田鳥ノ峯遺跡	盛園尚孝	〃	
60	〃	西之表市田之脇遺跡	〃	〃	
61	〃	出水郡長島町温之浦古墳群	池水寛治	〃	
62	〃	出水の旧石器と古墳	〃	出水文化20	
63	〃	芹沢長介・池水寛治両氏に聞く	宮路道雄	〃 22	
64	〃	南島史研究の問題点	国分直一	地方史研究21巻4号	
65	1972(S47)	九州	小田富士雄	神道考古学講座第二巻	
66	〃	南島考古学の諸問題	国分直一	史学研究86	
67	〃	鹿児島県出水地下式板石積石室墓出土の土器	河口貞徳	土師式土器集成2	
68	〃	大隅の埋蔵文化財	〃	みなみの手帖第3号	みなみの手帖社
69	1973(S48)	縄文晚期頃の小鉄片の発見	河野本道	考古学ジャーナル77	
70	〃	全国考古学関係学会、研究会、文化財保護団体一覧(3)		〃 80	
71	〃	1972年の考古学界の動向 —縄文時代	江坂輝彌	〃 81	
72	〃	地下式古墳の研究	石川恒太郎	帝国地方行政学会	単行本
73	〃	わたしたちの文化財を守りましよう	県教委文化課	文化課だより第1号	
74	〃	特集・現代都市と都市遺跡 —鹿児島	上村俊雄	古代学研究69	
75	〃	九州における細石器文化	橋昌信	考古学論叢第1号	
76	〃	考古学この一年の成果	江坂輝彌	歴史読本第18巻第13号	
77	〃	鹿児島県堂前遺跡の調査概要	池水寛治	高尾野町教育委員会	単行本
78	〃	先史時代の九州と大陸・南方文化	国分直一	九州文化論集1	
79	〃	鹿児島県の文化財	鹿県教育委員会		単行本
80	〃	鹿児島県市町別遺跡地名表	〃		〃

## 鹿児島県考古学文献目録 Ⅱ

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
81	1973(S48)	類須器集成(奄美大島・徳之島・喜界島)	白木原 和美	南日本文化第6号	
82	〃	祭祀遺跡地名表(5) 中国・四国・九州編	相山林継	神道考古学講座第6巻	
83	〃	弥生土器—九州 [2][3][5]	小田富士雄	考古学ジャーナル77・79・83	
84	〃	本城・田之脇遺跡調査概報	盛園尚孝	西之表市教育委員会	単行本
85	〃	隼人の七ツの城	乙益重隆	古代史講座月報9	学生社
86	1974(S49)	九州の古瓦と寺院	九州歴史資料館		単行本
87	〃	成川遺跡	田村晃一編	埋蔵文化財発掘調査報告七	〃
88	〃	大原・宮蘭遺跡	下甑村教委		〃
89	〃	鹿児島県上場遺跡発見の住居址	池水寛治	鹿児島考古第9号	
90	〃	奄美における土器文化の編年について	河口貞徳	〃	琉大史学第6号にも
91	〃	西ノ表市納曾遺跡概報	上村・本田・旭 平島・多々良	〃	
92	〃	志布志の縄文遺跡の分布・立地・標高・其の他について	瀬戸口 望	〃	
93	〃	内之浦町桟木遺跡	池水寛治・戸崎勝洋	〃	
94	〃	吉野町七社遺跡(2)	上村俊雄・出口浩	〃	
95	〃	古墳の計測(そのⅡ)	平田信芳	〃	
96	〃	枚聞神社所蔵の松梅蒔絵手箱について	重永卓也	〃	
97	〃	工事現場における遺跡の紹介	有元彰順	〃	
98	〃	鹿児島県考古学関係文献目録	池畠耕一・瀬戸久夫	〃	
99	〃	嘉徳遺跡	河口・上村・多々良 平島・肱岡	鹿児島考古第10号	
100	〃	倉園遺跡採集の指宿式土器とその他について	瀬戸口 望	〃	
101	〃	末吉町柳井谷遺跡の席目压痕土器について	松下文春	〃	
102	〃	与論島城遺跡について	有元彰順	〃	
103	〃	堀川貝塚について	〃	〃	
104	〃	南島文化はどのように研究されているか	国分直一	日本考古学の視点下	日本書籍
105	〃	日本在来馬の源流	林田重幸	日本古代文化の探求一馬	社会思想社
106	〃	鹿児島県沖永良部島の先史時代(上)	上村俊雄	古文化談叢第2集	
107	〃	鹿児島与論島での見聞	菅谷文則	青陵No.26	
108	〃	奄美先史学の当面する諸問題	白木原和美	琉大史学第6号	
109	〃	奄美最古の土器	河口貞徳	〃	
110	〃	南島古代文化の系譜	国分直一	東アジアの古代文化創刊号	「南島の古代文化」(毎日新聞社)にも所収
111	〃	九州島南部の朝鮮系文化	中村明藏	〃 2号	
112	〃	1973年の動向—縄文時代(西日本)	賀川光夫	考古学ジャーナル94	
113	〃	〃 弥生時代(西日本)	乗安和二三	〃	
114	〃	〃 古墳時代	堀田啓一	〃	

## 鹿児島考古第16号

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
115	1974(S49)	1973年の動向—南西諸島	嵩元政秀	考古学ジャーナル94	
116	"	層位的出土例と相対的編年	芹沢長介	古代史発掘1	
117	"	岩偶と岩板	江坂輝弥	" 3	
118	"	九州地方の造形文化	賀川光夫	" "	
119	"	シナ海諸地域の複葬(1) —西南日本の複葬	国分直一	どるめん第3号	
120	"	与論島における先史学的所見	白木原和美	南日本文化第7号	
121	"	史前時代	"	奄美文化誌	
122	"	外耳をもつ石臼	三島格	"	
123	1975(S50)	薩摩国府跡・国分寺跡	河口・小田他	鹿児島県教委	
124	"	指宿橘半礼川遺物包含地の現状変更許可申請に伴なう発掘調査事業報告(第二年度)		指宿市教委	
125	"	1974年の考古学界の動向 —縄文時代(西日本)	橘昌信	考古学ジャーナル108号	
126	"	"—弥生時代(西日本)	関俊彦・中山清隆	" "	
127	"	"—南西諸島	安里嗣淳	" "	
128	"	新刊書評『隼人』	坂詰秀一	" 109号	
129	"	八重山先史系土器とその北上の形跡	国分直一	" 113号	
130	"	国分寺・国分尼寺の伽藍配置について(上)	白木康夫	" 115号	
131	"	" (下)	"	" 116号	
132	"	新刊書評『薩摩国府跡・国分寺跡』	坂詰秀一	" "	
133	"	海上の道—海流・季節風・動物をめぐって	国分直一	えとのす第2号	
134	"	トカラ海峡	白木原和美	" "	
135	"	異考「南島の道」	柴田勝彦	" "	
136	"	双性的巫人—特に南西諸島の事例について	国分直一	" 第3号	
137	"	シナ海と九州	"	アジア文化第11巻第3号	
138	"	南島先史時代の文化交流	河口貞徳	"	
139	"	邪馬台国時代の人びと	"	日本古代史の旅3	小学館
140	"	宮ノ前遺跡	酒匂義明	志布志町教委	
141	"	宝島大地遺跡の調査	国分・白木原・小谷 佐藤	協会総会研究発表要旨 第34号	
142	"	類須恵器の出自について	白木原和美	法文論叢第36号	
143	"	先史時代の奄美	内田裕雄		南海日々新聞社
144	"	乱脈な文化財行政	河口貞徳	九州文化財白書	
145	"	海上の道	三島格	野性時代10月号	
146	"	日本各地の寺院跡—九州	小田富士雄	新版仏教考古学講座 第2巻	
147	"	日本各地の仏塔—九州	多田隈豊秋	" 第3巻	
148	"	日本各地の墳墓—九州	渋谷忠章・上野精志	" 第7巻	

## 鹿児島県考古学文献目録 II

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
149	1975(S50)	隼人の呪力とその系譜	中村明蔵	隼人文化創刊号	
150	〃	隼人豆手帖(其一隼人の楯)	藤井重寿	〃	
151	〃	隼人の盾の幾何学文様の解釈について—考古学的資料の検討	新東晃一	〃	
152	〃	種子島の製鉄遺跡から—南九州の鉄の文化の可能性	田村克己	〃	
153	〃	隼人学への招待	向山勝貞	〃	
154	〃	書評『薩摩国府跡・国分寺跡』	中村明蔵	〃	
155	〃	民族学から見た隼人	大林太良	日本古代文化の探求 —隼人	社会思想社
156	〃	考古学上より見たる熊襲と隼人	上村俊雄	〃	〃
157	〃	隼人源流考—島嶼世界との関連をめぐって	国分直一	〃	〃
158	〃	近畿地方の隼人—とくに考古学の視点から	森浩一	〃	〃
159	〃	隼人支配	井上辰雄	〃	〃
160	〃	隼人とその文化	金関丈夫・大林太良	〃	〃
161	〃	発掘から推理する	金関丈夫	朝日選書40	
162	〃	右手の不使用—南海産貝製腕輪着装の意義	高倉洋彰	九州歴史資料館研究論集1	
163	〃	日本出土の越州窯陶磁器の諸問題	亀井明徳	〃	
164	〃	種子島における弥生式土器	旭慶男	鹿児島大学考古学研究会紀要第1号	
165	〃	橋牟礼川遺跡	佐土原祐昌	指宿史談第五号	
166	〃	南北九州の古墳時代墓制の対比	岩崎光	〃	
167	〃	上場遺跡の住居址から	池水寛治	もぐら第10号	
168	〃	上場遺跡の第5次調査の概要	大久保・富田	〃	
169	〃	大口市日東遺跡の調査 (昭和47, 48年度)	堀切他	〃	
170	〃	出水地方における遺跡の破壊	野村他	〃	
171	〃	弥生時代の南西諸島	国分直一	古代史発掘4	
172	〃	縄文時代の植物食	渡辺誠	考古学選書13	
173	〃	七社遺跡	出口浩	年報26	
174	〃	風口遺跡	河野治雄	〃	
175	〃	橋牟礼川遺跡	〃	〃	
176	〃	沖田岩戸遺跡	池水寛治	〃	
177	〃	莊遺跡	〃	〃	
178	〃	日東遺跡	〃	〃	
179	〃	大原・宮薙遺跡	本藏久三	〃	
180	〃	三諦寺遺跡	〃	〃	
181	〃	隼人塚団地遺跡	〃	〃	
182	〃	永山古墳	河口貞徳	〃	

## 鹿児島考古第16号

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
183	1976(S51)	花の木遺跡	諏訪・青崎	鹿県埋蔵文化財発掘調査報告書1)	鹿県教委
184	"	放光寺遺跡	平田・出口・戸崎・長野他	" (2)	"
185	"	牟田尻・カラソ迫遺跡	池畠・牛の浜	" (3)	"
186	"	入来遺跡	河口貞徳	鹿児島考古第11号	
187	"	入来遺跡調査概要一石墓研究の一環として	河口貞徳編	"	
188	"	下小路遺跡	河口・旭・最所	"	
189	"	器台付皿形土器	河口貞徳	"	
190	"	隼人における共同体社会の崩壊期について一大口盆地の仏教文化とその意義	新東晃一	隼人文化第2号	
191	"	隼人塚石造物の成立時期について	上村俊雄	"	
192	"	隼人と馬—隼人と牧畜—	中村明藏	"	
193	"	書評「隼人文化」創刊号によせて	乙益重隆	"	
194	"	地域考古学界の動向—鹿児島県	上村俊雄	考古学ジャーナル118号	
195	"	1975年の動向—旧石器時代	小林博昭	" 123号	
196	"	概説	小林達雄	日本の旧石器文化3	
197	"	先史時代の西海交通と薩摩半島	河口貞徳	えとのす第6号	
198	"	環シナ海民族文化考	国分直一		慶友社
199	"	橋牟礼川遺物包含層遺跡	河野治雄	年報27	
200	"	上場遺跡	池水寛治	"	
201	"	地福廃寺遺跡	盛園尚孝	"	
202	"	広域に分布する火山灰—姶良Tn火山灰の発見とその意義	町田洋・新井房夫	科学46-6	
203	1977(S52)	新番所後遺跡	長野真一	鹿県埋蔵文化財発掘調査報告書4)	鹿県教委
204	"	指辺・横峯・中之峯・上焼田遺跡	戸崎・出口他	" (5)	"
205	"	大隅地区埋蔵文化財分布調査概報	立神・中村他	" (6)	"
206	"	九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告1	平田・新東他	" (7)	" 西免・戸場・山神・曲迫・桑ノ丸
207	"	南宮島遺跡	青崎和憲		姶良町教委
208	"	辻堂原遺跡	池畠・弥栄也		吹上町教委
209	"	村原(梅ノ原)遺跡	新東・中島・牛ノ浜		加世田市教委
210	"	鹿児島県市町村別遺跡地名表	鹿県教委		
211	"	隼人の研究	中村明藏		学生社
212	"	国分市城山・姫城	"	隼人文化第3号	
213	"	隼人塚	上村俊雄	"	
214	"	南島の二つの遺跡	下野敏見	"	
215	"	権力者の墓制	上村俊雄	"	
216	"	隼人の豪族曾君についての考察	中村明藏	"	

## 鹿児島県考古学文献目録 Ⅱ

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
217	1977(S52)	国分平野の遺跡	新東晃一	隼人文化第3号	
218	〃	大隅国分寺址をみて	平田信芳	〃	
219	〃	隼人の城について	上村俊雄	〃	
220	〃	鹿児島県出土の南島産貝資料	〃	〃	
221	〃	先史時代における南島と九州本土との文化交流について	〃	具志川島遺跡群第一次発掘調査報告書	伊是名村教委
222	〃	民族学から見た古代九州	大林太良	西南日本の古代文化	東アジアの古代文化別冊
223	〃	考古学から見た隼人	上村俊雄	〃	〃
224	〃	隼人の叛乱のあとにきたもの	中村明藏	〃	〃
225	〃	東南アジア史から見た隼人の位置	生田滋	〃	〃
226	〃	シンボジウム 「古代南九州の原像」		〃	〃
227	〃	鹿児島県縄文時代の研究史	河口貞徳	九州の原始文様	佐賀県博
228	〃	夜臼式土器出土地名表	浜田昌治・木川雅樹	福岡考古懇話会会報第7号	
229	〃	鹿児島県の円筒土器	弥栄久志	考古学論叢第4号	
230	〃	九州の円筒土器とその編年の問題	賀川光夫	〃	
231	〃	九州の板碑	賀川・松岡・桑原永松	考古学ジャーナル132	
232	〃	経塚研究文献目録Ⅳ	関秀夫編	〃 135	
233	〃	喜界島の俊寛墓から発掘された人骨	鈴木尚	〃 136	
234	〃	木棺について	中野政樹・山内文	〃 〃	
235	〃	マンローがケンブリッジ大学に寄贈した日本の資料その他について	芹沢長介	考古学研究95・96	
236	〃	成川式土器	平島勇夫	つくし第7号	つくし古代文化研究会
237	〃	先史時代の南島およびその周辺	国分直一	日本民族と黒潮文化	角川書店
238	〃	研究史－南島の考古学	〃	〃	〃
239	〃	沖永良部島の遺跡	新田重清	やむちん	
240	〃	奄美先史土器文化の南漸	安里進	〃	
241	〃	奄美大島伊子茂遺跡について	広山淳一	南島考古第5号	
242	〃	貝をめぐる考古学	三島格		学生社
243	〃	鹿児島県上場遺跡	池水寛治	年報28	
244	〃	鹿児島県加栗山遺跡	青崎和憲	〃	
245	〃	加治屋園遺跡	弥栄久志	〃	
246	〃	釣田遺跡	平田信芳	〃	
247	〃	牟田尻・カラソ迫遺跡	池畠耕一	〃	
248	〃	樺原遺跡	新東晃一	〃	
249	〃	植平遺跡	河口貞徳	〃	
250	〃	萩原遺跡	平田信芳	〃	

## 鹿児島考古第16号

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
251	1977(S52)	長ヶ原遺跡	新東晃一	年報28	
252	"	木屋原遺跡	弥栄久志	"	
253	"	葛根塚遺跡	新東晃一	"	
254	"	松木原遺跡	"	"	
255	"	上焼田遺跡	出口浩	"	
256	"	入来遺跡	河口貞徳	"	
257	"	志布志湾沿岸の古墳文化	上村俊雄	南日本文化第10号	
258	1978(S53)	西之園遺跡	池畠耕一・長野真一	鹿児島埋蔵文化財発掘調査報告書(8)	
259	"	大隅地区埋蔵文化財分布調査概報	立神次郎・中村耕治	" (9)	
260	"	九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書II	諫訪昭千代他	" (10)	東原・入道・柳ヶ迫他
261	"	赤木・下剣峯・大四郎・内和遺跡	新東晃一・立神次郎		西之表市教委
262	"	萩原遺跡	平田信芳他		姶良町教委
263	"	岩本遺跡	長野真一・中島哲郎	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書(1)	指宿市教委
264	"	阿多貝塚	戸崎勝洋・青崎和憲	金峰町埋蔵文化財調査報告書(1)	金峰町教委
265	"	豎野(冷水)窯址	戸崎・吉永・中島		社会法人南風病院
266	"	サウチ遺跡	河口・出口・本田	笠利町教育委員会鹿児島考古第12号	
267	"	納普遺跡	上村・本田・旭他	"	
268	"	道の島の考古学	国分直一・白木原和美	えとのす第9号	
269	"	隼人源流再考	国分直一	"	
270	"	隼人の埋葬	河口貞徳	"	
271	"	与論島見聞記	金関丈夫	"	
272	"	南西諸島の類須恵器—シナ海半月弧文化圏	白木原和美	"	
273	"	トカラ通信	"	"	
274	"	隼人の村落社会	中村明藏	"	
275	"	貝の道の考古学	永井昌文・国分直一	えとのす第10号	
276	"	南島先史葬制追考	国分直一	"	
277	"	弥生時代の祭祀遺跡—大隅半島山ノ口遺跡	河口貞徳	"	
278	"	耳と目の結婚	谷川健一	"	
279	"	上代文学にみる肥人	小島瓔禮	"	
280	"	隼人の国—その視点	中村明藏	東アジアの古代文化第15号	
281	"	1977年の動向—弥生時代(西日本)	小田富士雄	考古学ジャーナル149	
282	"	" 一南西諸島	当真嗣一	" "	
283	"	土師部の造形理念	平田信芳	" 150	
284	"	池ノ久保遺跡概観	鮫島安豊	潮流第1号	

## 鹿児島県考古学文献目録 Ⅱ

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
285	1978(S53)	種子島・屋久島に関する考古学文献目録	鮫島安豊・関一之	潮流第1号	
286	〃	市来貝塚	河口貞徳	鹿児島県文化財調査報告書第25集	
287	〃	阿久根市脇本窯址	池水寛治	紀要出水1	県立出水高校
288	〃	南九州における人形・馬形土製品の祭祀形態	新東晃一	古代文化第30巻第2号	
289	〃	隼人農耕論(一)	中村明藏	隼人文化第4号	
290	〃	鹿児島県における生殖器信仰の系譜 —考古学の資料を中心に	池畠耕一	〃	
291	〃	鹿児島県曾於郡大崎町持留 双子塚出土の朝鮮式鉄斧	上村俊雄	〃	
292	〃	隼人と馬	〃	〃	
293	〃	熊襲と隼人	井上辰雄	歴史新書	教育社
294	〃	笠利町高又遺跡	安部克子他	笠利町文化財調査報告No.2 研究室活動報告3	笠利町教育委員会 熊本大学考古学研究室
295	〃	現和西侯発見の灰釉陶と中國陶磁	亀井明徳	潮流第2号	種子島考古学研究会
296	〃	現和西侯遺跡の発見の経緯 と概況	石堂次美	〃	〃
297	〃	立山出土のチョーナ型石器	鮫島安豊	〃	〃
298	〃	隼人の楯	中村明藏	学生社	単行本
299	〃	南九州の火山灰と土器形式	新東晃一	どるめん第19号	
300	〃	隼人と大和政権	井上辰雄	学生社	単行本
301	〃	大口市郷土誌資料 第6集	大口市郷土誌編さん 委員会		寺師(1954)を集録
302	〃	動向	平田信芳	年報29	
303	〃	釣田遺跡(第8地点)	〃	〃	
304	〃	豊野系冷水窯跡	戸崎勝洋	〃	
305	〃	岩本小牧遺跡	長野真一	〃	
306	〃	村原(桙ノ原)遺跡	新東晃一	〃	
307	〃	城山山頂遺跡	平田信芳	〃	
308	〃	南宮島遺跡(1)	青崎和憲	〃	
309	〃	〃(2)	〃	〃	
310	〃	石峰遺跡	出口浩	〃	
311	〃	木佐貫原遺跡	吉永正史	〃	
312	〃	横瀬古墳	中村耕治	〃	
313	〃	阿多貝塚	戸崎・青崎	〃	
314	〃	辻堂原遺跡(1)	池畠耕一	〃	
315	〃	〃(2)	〃	〃	
316	〃	九州経塚分布地名表	宮小路賀宏・杉山洋	考古学ジャーナル153	
317	〃	論集・海上の道	国分直一編	日本古代文化叢書	大和書房
318	〃	熊襲と隼人の文化	隈昭志	地方文化の日本史(I)	文一総合出版

## 鹿児島考古第16号

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
319	1978(S53)	志布志湾における文化財の保護に関する動向	三木 靖	南日本文化11	
320	〃	与論島の先史・原史時代遺跡	高宮廣衛・知念勇	南島文化研究所々報3	
321	1979(S54)	九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告Ⅲ	新東・吉永他	鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書11	三代寺・木佐貫原
322	〃	宇宿貝塚	河口・出口・本田		笠利町教委
323	〃	別府(石踊)遺跡	立神次郎・中村耕治		志布志町教委
324	〃	野久尾遺跡	酒匂 義明		〃
325	〃	小牧第Ⅱ調査区	弥栄・中島他	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書2	指宿市教委
326	〃	大竜遺跡	上村・本田・旭・繁昌	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書1	鹿児島市教委
327	〃	莊貝塚	池水・長野・旭	出水市文化財調査報告書1	出水市教委
328	〃	薩摩国分寺跡—昭和53年度発掘調査概報	沢村・諏訪・池畠		川内市教委
329	〃	手広遺跡発掘調査終了報告	中山 清美		竜郷町教委
330	〃	タチバナ遺跡	村田 他	研究室活動報告4	熊本大学考古学研究室
331	〃	<sup>14</sup> C年代からみた九州地方縄文時代の編年	坂田 邦洋	別府大学考古学研究室報告第2冊	
332	〃	長島の旧石器—出水郡東町尻無平遺跡・毎床牧場入口遺跡	池崎讓二・吉留秀敏	鹿児島考古第13号	
333	〃	出水地方平野部の細石器資料	吉留秀敏	〃	
334	〃	磨製石鎌二例	瀬戸久夫・吉留秀敏	〃	
335	〃	吹上町今木場遺跡の石器について	池畠 耕一	〃	
336	〃	湯之浦山上遺跡	本田道輝・東靖子 有元彰順	〃	
337	〃	六堂会古墳について	有元彰順	〃	
338	〃	隼人が用いた土器—成川式土器	平田信芳	隼人文化第5号	
339	〃	隼人の漁撈生活	池畠 耕一	〃	
340	〃	宇佐八幡托宣集の隼人七城小考	市来家隆	〃	
341	〃	古代における鹿児島湾沿岸部勢力について—成川遷本の存在をめぐって	中村 明藏	隼人文化第6号	
342	〃	鹿児島県	三木 靖他	日本城郭大系18	
343	〃	鹿児島県における弥生時代研究の現状	池畠 耕一	九州考古学54号	
344	〃	南部九州の弥生系高地性集落の機能と編年	河口 貞徳	高地性集落の研究	学生社
345	〃	千束遺跡	〃	〃	〃
346	〃	薩摩国分寺の塔は七重か五重か	平田信芳	考古学ジャーナルNo.159	
347	〃	1978年の動向—縄文時代(西日本)	隈昭志・杉村彰一	〃 No.165	
348	〃	〃—南西諸島	知念 勇	〃 〃	
349	〃	地域考古学界の動向Ⅱ—鹿児島県	長野 真一	〃 No.169	
350	〃	九州地方の細石器文化	橋 昌信	駿台史学第47号	
351	〃	小牧3A遺跡の紹介	長野 真一	指宿史談創刊号	
352	〃	鹿児島県の古墳文化	上村 俊雄	みなみの手帖No.26	

## 鹿児島県考古学文献目録 Ⅱ

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
353	1979(S54)	弥生時代研究の動向	工 楽 善 通	年報 30	
354	〃	下剣峯遺跡	新 東 晃 一	〃	
355	〃	城山山頂遺跡	平 田 信 芳	〃	
356	〃	萩原遺跡	〃	〃	
357	〃	楽之平遺跡	池 水 寛 治	〃	
358	〃	サウチ遺跡	河 口 貞 徳	〃	
359	〃	西之薙遺跡	池 畑 耕 一	〃	
360	1980(S55)	石峯遺跡	河 口 ・ 出 口 他	鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書12	県教委
361	〃	大隅地区埋蔵文化財分布調査概報	立 神 ・ 中 村	〃 13	〃
362	〃	上ノ城遺跡	諏 訪 ・ 池 畑	加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書2	加世田市教委
363	〃	弓場ヶ尾地区一蓑輪遺跡・柳遺跡	立 神 ・ 中 村		志布志町教委
364	〃	橋牟礼川遺跡	弥 栄 ・ 井 ノ 上	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書3	指宿市教委
365	〃	萩原遺跡(II)	平 田 ・ 青 崎 ・ 中 村		姶良町教委
366	〃	中岳洞穴	河 口 貞 徳		末吉町教委
367	〃	薩摩国分寺—昭和54年度発掘調査概報	沢 村 ・ 諏 訪 ・ 池 畑		川内市教委
368	〃	馬毛島埋葬址—西之表市椎ノ木遺跡	白 木 原 和 美 他	研究室活動報告6	熊本大学考古学研究室
369	〃	タチバナ遺跡(2)	中 村 愿 他	〃 7	〃
370	〃	所謂広田型貝輪の細分について	木 村 幾 多 郎	史淵 117 輯	
371	〃	鶴田町小松原古墳	上 村 俊 雄	隼人文化第7号	
372	〃	鹿児島県における抜歯風習の特質	池 畑 耕 一	〃 第8号	
373	〃	古代における服属関係の成立(I)—隼人の服属をめぐって	中 村 明 蔵	鏡山猛先生古稀記念古文化論叢	
374	〃	沖永良部における先史遺跡調査概要	高 宮 廣 衛	南島文化研究所々報	沖縄国際大学南島文化研究所
375	〃	火山吹からみた南九州縄文早・前期土器の様相	新 東 晃 一	鏡山猛先生古稀記念古文化論叢	
376	〃	高麗瓦など	三 島 格	〃	
377	〃	成川式土器の細分編年試案	池 畑 耕 一	鹿児島考古第14号	
378	〃	岡山県王泊遺跡出土の成川式土器	〃	〃	
379	〃	表紙説明 平桝式土器	河 口 貞 徳	〃	
380	〃	下田尻遺跡について	本 田 道 輝 ・ 有 元 彰 順	〃	
381	〃	鹿児島県における安国寺式土器の一例	平 島 勇 夫	〃	
382	〃	東黒土田採集の平桝式土器とその他のについて	瀬 戸 口 望	〃	
383	〃	輪野尾採集の塞ノ神式土器	多々良 友 博	〃	
384	〃	樋脇町楠八重の段遺跡・沢牟田遺跡	川 畑 昭 光	〃	
385	〃	松木薙遺跡出土の土器について	本 田 道 輝	〃	
386	〃	鹿児島湾北岸地域における考古学的一般調査報告(1)	新 田 栄 治	鹿児島大学教養部史学科報告第29号	

## 鹿児島考古第16号

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
387	1980(S55)	木村幹夫考古学論文集	木村幹夫		単行本
388	〃	宇宿貝塚の埋葬	河口貞徳	日本民俗文化とその周辺考古篇	
389	〃	九州および南島出土の鮫歯 製垂飾について	三島格	〃	
390	〃	九州系弥生文物の対外伝播 覚書	小田富士雄	〃	
391	〃	弥生時代における南海産貝輪の系譜	木下尚子	〃	
392	〃	奄美における近年の考古学	中山清美	南島考古だより第22号	沖縄考古学会
393	〃	動向	盛園尚孝	年報31	
394	〃	釣田第6地点	戸崎勝洋	〃	
395	〃	タチバナ遺跡	中村 愿	〃	
396	〃	小牧第Ⅱ調査区	弥栄久志	〃	
397	〃	加治屋遺跡	池畠耕一	〃	
398	〃	上ノ城遺跡	〃	〃	
399	〃	白寿遺跡	弥栄久志	〃	
400	〃	下原遺跡	〃	〃	
401	〃	薩摩国分寺跡	池畠耕一	〃	
402	〃	外川江遺跡	平田信芳	〃	
403	〃	莊貝塚	池水寛治	〃	
404	〃	城山山頂遺跡(第3次)	平田信芳	〃	
405	〃	中尾田遺跡	新東晃一	〃	
406	〃	山崎B遺跡	牛之浜修	〃	
407	〃	中岳洞穴	河口貞徳	〃	
408	〃	別府(石踊)遺跡	立神次郎・中村耕治	〃	
409	〃	横瀬古墳	〃	〃	
410	〃	伊敷遺跡	〃	〃	
411	〃	牧ノ原遺跡	〃	〃	
412	〃	上小牧遺跡	〃	〃	
413	〃	大園遺跡	青崎和憲	〃	
414	〃	宇宿貝塚	河口貞徳	〃	
415	〃	先史時代におけるスイジ貝 製品について	上村俊雄	鹿大史学第28号	
416	1981(S56)	加治屋園遺跡・木の迫遺跡	弥栄・長野・池畠他	鹿県埋蔵文化財発掘調査報告書14	県教委
417	〃	中尾田遺跡	新東・中島・井ノ上	〃 15	〃
418	〃	加栗山遺跡・神ノ木山遺跡	青崎・戸崎・牛ノ浜	〃 16	〃
419	〃	山崎A・C遺跡・木場C遺跡	吉永・中村・池畠他	〃 17	〃
420	〃	与論島の先史時代	山口俊博他	研究室活動報告9	熊本大学考古学研究室

## 鹿児島県考古学文献目録 』

資料番号	発行年	文題	著者名	所収文献名	備考
421	1981(S56)	宇宿港遺跡	白木原和美他	研究室活動報告9 笠利町文化財報告No.4	熊本大学考古学研究室 笠利町教委・笠利町歴史館
422	〃	花牟礼(大戸原)遺跡	出口・繁昌	高山町埋蔵文化財調査報告書1	高山町教委
423	〃	一湊松山遺跡	〃	上屋久町埋蔵文化財発掘調査報告書1	上屋久町教委
424	〃	宮之迫遺跡	長野・井ノ上	末吉町文化財調査報告書2	末吉町教委
425	〃	松之尾遺跡	戸崎・吉永	枕崎市松之尾土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書1	枕崎市教委
426	〃	宮之前遺跡	弥栄・中島	指宿市埋蔵文化財調査報告書5	指宿市教委
427	〃	薩摩国分寺跡一昭和55年度 発掘調査概報	沢村・諏訪・池畠		川内市教委
428	〃	九州の縄文早・前期土器の 編年	坂田邦洋	史学論叢第11号	別府大学
429	〃	九州縄文時代土偶の研究	宮内克己	九州考古学55	
430	〃	知覧町内における先史時代 研究のための調査資料覧書	河野治雄	知覧文化第18号	
431	〃	日向三山陵の設定について (古代における服属關係の成立Ⅱ)	中村明藏	隼人文化第9号	
432	〃	新大隅開発計画と埋蔵文化財	河口貞徳	第2次埋蔵文化財白書	学生社
433	〃	考古学—遺跡探訪	池畠耕一他	かごしま茶の間の地球 科学	鹿児島県教育地質調査団
434	〃	松木藪遺跡の調査	本田道輝	鹿大史学第29号	
435	〃	動向	河口貞徳	年報21・22・23	
436	〃	北手牧遺跡	〃	〃	
437	〃	北手牧遺物包含地 (第2次調査)	河野治雄	〃	
438	〃	空港建設地内遺跡	河口貞徳	〃	
439	〃	上加世田遺跡	〃	〃	
440	〃	入来遺跡	〃	〃	
441	〃	別府原古墳	〃	〃	
442	〃	北方古墳	〃	〃	
443	〃	鷺塚古墳	〃	〃	
444	〃	堂前古墳	〃	〃	
445	〃	薩摩国分寺跡	〃	〃	
446	〃	御灰塚	〃	〃	
447	〃	朝仁貝塚	〃	〃	
448	〃	坂之上坂口遺跡	河野治雄	〃	
449	〃	上場遺跡	池水寛治	〃	
450	〃	上場狸山遺跡	〃	〃	
451	〃	宮ノ脇遺跡	〃	〃	
452	〃	脇本古墳群	〃	〃	
453	〃	青椎郷田遺跡	〃	〃	
454	〃	溝下古墳群	〃	〃	